

セミナー通信

V o l . 2 3 8

西村セミナールーム

主宰 西村 恵子

セミナールーム十訓より一「授業は集中して聞け」

いよいよ塾においての新年度が始まりました。中学生はこの3月から新学年となります。面談で誓った通りやるべきことをしっかりとやって、一年間頑張りきってほしいと思います。

中3はもう卒塾生ということで平常の授業はなくなりましたが、入試はまだ終わっていません。1週間後が本番です。よって、塾では入試の前日まで対策授業を行ってまいります。今年も塾として最後まで全力でサポートさせていただくつもりです。

さて、今年も新入塾生さんがたくさん入塾してくださいました。有り難いことに、ちらしやホームページ等で当塾の方針をしっかりと理解された上で入塾を希望してくださった方が例年以上に多かった気がします。「親子で“セミナールーム十訓”を読み、これが守れるように頑張ろうと話し合いました。」という、うれしいお声もいただきました。

そこで、今年度はこのセミナー通信で、さらに詳しく十訓のひとつひとつについて書かせていただこうと思っています。日々の授業の受け方、課題への取り組み方、気持ちの持ち方など、当塾に通っていただく上での約束事です。一年間で書ききれぬかどうかわかりませんが、機会あるごとに書かせていただきますのでよろしくお願いいたします。

スタートの今月は、1つ目の「授業は集中して聞け」です。

これを見て、「あ、自分はできているからこれは関係ないや。」と思った塾生諸君、また、「これはできて当然だし、授業参観でもうちの子は静かに聞いているみたいだからいいわよね。」と思われた保護者の方、本当に大丈夫でしょうか。実は年々、授業を集中して聞けない生徒が増えています。特に初めて塾に通い始めたというお子さんは、静かに座っているだけであって、こちらが要求するような聞き方ができている子はまずいません。人の話を聞くと言うことは、その人の思考と自分の思考とをシンクロ（同調させる）ことであり、話し手のスピードにあわせて自分自身の頭の中に聞いたことを整理して理解していくことなのです。ですから、何か説明してもらっているならば、その人が言わんとする内容を理解しようと、その言葉ひとつひとつを常に自分自身の言葉に置き換えて納得しながら聞いていかなければなりません。これができて、はじめて授業が聞けたと言えます。こうなるためには受け身ではいけません。自分から“聞いて理解するぞ”という気持ちで臨むことが絶対必要です。集中して授業が聞けるようになるには時間がかかるかもしれませんが、これができなければ当塾のような一斉授業の塾に通う意味がありません。授業では説明の途中で私が質問をして、手を挙げなくても指名して答えさせていきます。頑張っって常に気持ちを向けていてください。